

## 2016年度 日本文化人類学会 第1回理事会 議事録(案)

日時：2016年5月15日(日) 14:00～17:30

会場：東京大学 東洋文化研究所 3階 大会議室 (東京大学 本郷キャンパス内)

出席者：松田、綾部、伊藤、宇田川、小田、川田、栗本、桑山、湖中、高倉、田中、棚橋、中谷、名和、真島、三尾、森山、箭内

委任状提出：岡田、慶田、佐々木、白川、速水

### 〔承認事項〕

1. 第26期第27期(2016年度)新旧合同理事会議事録を承認。
2. 新入会員(10名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上、事後承認。
3. 綾部理事より、今年度の学会主催公開シンポジウム(於福岡)の開催にあたり、採択された濫澤民族学振興基金助成金について、科学研究費補助金とは別に、印刷費等に充てたいとの要望がシンポジウム開催担当の太田好信会員(九州大)からあり、前期理事会でもすでに合意がとれていることが説明され、承認された。

### 〔報告事項〕

1. 庶務理事報告
  - ・第5回三島海雲学術賞の選考結果について三島海雲記念財団から通知があり、学会から候補者として推薦した会員へ通知したことを報告。
2. 広報理事報告
  - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき5件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
3. 各種委員会報告
  - ・『文化人類学』編集委員会：研究大会時に委員会を開催予定であることを報告。
  - ・JRCA編集委員会：欠席の速水理事に代わり宇田川理事より、編集委員会を開催予定であること、そのときに2号刊行のスケジュールを確認することを報告。
  - ・国際化・グローバル化対応委員会：5月にクロアチアで開催されたWCAA会議へ本学会 Delegate の窪田幸子会員(神戸大)が出席し、組織委員会へ立候補して選任されたことを報告。
  - ・研究大会運営検討委員会：第52回以降の研究大会開催校の決定に向け、理事に対し協力を要請した。
  - ・地区研究懇談会：各地区の研究會開催状況、開催予定を報告。(中谷理事よりの提案について、審議事項「その他」に記載。)

### 〔審議事項〕

1. 各種委員会の構成について
  - ・松田会長候補より、資料に基づき現時点での委員会構成に関する説明がなされ、承認された。
2. 2015年度決算(含、会計監査報告)・2016年度予算(案)について
  - ・綾部理事より、2015年度決算について5月9日に第26期幹事の加藤泰建、船曳建夫両氏による監査が実施されたことと、監査意見が報告され、これに基づき評議員会、総会で報告を行うことが承認された。
  - ・2016年度予算案について前回からの変更点を中心に説明がなされた。将来計画基金からの引出金額を抑えるため、引き続き各項目の削減を検討の上、次回理事会での承認を経て、評議員会へ諮ることを確認した。
3. 2015年度事業報告・2016年度事業計画(案)について
  - ・川田理事より、2016年度事業計画案について前回からの変更点を中心に説明がなされ、文言調整の上、次回理事会での承認を経て、評議員会へ諮ることを確認した。
4. 法人化に関する検討事項ならびに一般社団法人日本文化人類学会定款(案)について
  - ・三尾理事より、資料に基づき、定款の方針と検討事項、定款案について説明がなされた。これに対して理事の間から、本学会が法人化するメリットが明確でないため、今期理事会でも引き続き検討が必要である等の意見が出された。議論の結果、総会では定款案、学会HP及び学会誌へ前期法人化検討委

員会委員長名で掲載される学会法人化に関する説明文書に加え、学会法人化のメリットとデメリット等を記載した資料も開示する方向で委員会で準備、検討を進めることを確認した。また、総会において定款案を提示した上で、学会法人化に関する会員からのパブリックコメントの受付開始を含む、今後のスケジュールの確認を行った。

5. 会費体系の改定について
  - ・松田会長候補より、学会誌 80 巻 4 号に掲載された文書を基に、第 26 期理事会からの提案内容の確認を行った。審議の結果、学会誌に掲載された第 26 期理事会作成の文書に加え、第 26 期理事会で行った会費の試算に関する資料も総会で提示することとした。
6. JRCA の投稿権について
  - ・桑山理事より、国際情報発信強化事業について平成 28 年度科学研究費補助金計画調書に基づいて説明があり、計画に基づき JRCA の投稿権を東アジアへ拡大することが提案された。審議の結果、方向性が承認され、具体的な投稿権及び寄稿規定の改定は引き続き検討をすることとした。
  - ・今年 6 月に開催される SEAA(東アジア人類学協会)のキーパネルへ桑山理事が学会代表として参加することが提案され、承認された。
  - ・今年の AAA のパネルには山本真鳥会員(法政大)が出席予定であることが報告された。
7. 名誉会員候補者の提案について
  - ・川田理事より、本日までにあらたな推薦がなかったことが報告された。「日本文化人類学会名誉会員に関する内規」の第 2 条 2 項による理事会からの候補者推薦は行わず、前回理事会で承認された日本文化人類学会名誉会員内規第二章、第 2 条の条件を満たす名誉会員候補資格者 1 名を名誉会員候補者として評議員会へ推薦することが承認された。
8. 監事候補者について
  - ・松田会長候補より、スチュアート ヘンリ会員、高桑史子会員を幹事候補として評議員会に諮ることが提案され、承認された。
9. 第 6 回三島海雲学術賞推薦依頼について
  - ・川田理事より、第 6 回三島海雲学術賞推薦依頼が届いたことが報告され、審議の結果、過年度と同様、JASCA-INFO を通じて学会推薦候補者の募集を実施すること、配信文案については総務会に一任することが承認された。
10. 熊本地震の対応について
  - ・川田理事より、総務会提案として平成 28 年熊本地震への対応の一つとして「平成 28 年熊本地震の被災会員に対する 2016 年度会費徴収特例措置」(案)が説明され、審議の結果、JASCA-INFO での配信と併せて承認された。そのほかの対応については 2011 年度総会で提示された文書「日本文化人類学会の東日本大震災への対応について」に準じることを確認した。
11. その他
  - ・中谷理事より、地区研究懇談会の担当地区と担当理事の本務所在地との間に生じている地理的な隔たりの解消について検討を要すること、またそもそも事業計画案に記載されている「地区研究懇談会のあり方の検討」を実際に行う場を設定する必要があることの 2 点の問題提起がなされた。意見交換の結果、まず総務会で検討を行った上で、今後の理事会で検討を行うこととした。
  - ・2016 年度総会で黙祷を捧げる物故会員について確認を行った。
  - ・2016 年度第 2 回理事会は 5 月 28 日(土)開催予定、於南山大学名古屋キャンパス。
  - ・2016 年度第 3 回理事会は 7 月 17 日(日)開催予定、於東京大学東洋文化研究所。

以上